

# 2013

ASHIKAGA HOLDINGS ASHIKAGA BANK

DISCLOSURE ミニディスクロージャー誌 2013年(25年9月期)

足利ホールディングス 足利銀行

 足利ホールディングス

 足利銀行

## 企業理念

“企業理念”は、足利ホールディングスおよび足利銀行のすべての行動の原点となる考え方を示したもので、「存在意義」「経営姿勢」「行動規準」から構成されています。

わたくしたちは、この企業理念のもとで地域の総合金融機関として、地域社会とお客さまの信頼と期待にお応えできるようにつとめております。

### 存在意義

#### 「豊かさの創造に寄与する」

足利銀行は、地域の総合金融機関として、地域社会のすべての人々の豊かさの創造に寄与しつづけます。

### 経営姿勢

#### 「地域と共に生きる」

足利銀行は、お客さま本位の精神のもとに、地域と共に生きる開かれた銀行として積極的で健全な経営をすすめます。

### 行動規準

#### 「誇りと喜びをもって行動する」

わたくしたちは、自らの使命・役割をよく理解し、たえず自分を磨き、高め、誇りと喜びのある行動によって、人々の期待と信頼に応えます。

## プロフィール (平成25年9月30日現在)

### ○ 足利ホールディングス

商号 … 株式会社足利ホールディングス  
代表者 … 代表執行役社長 藤澤 智  
設立年月日 … 平成20年4月1日  
資本金 … 1,050億1,000万円  
本社所在地 … 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号  
(足利銀行本店内)

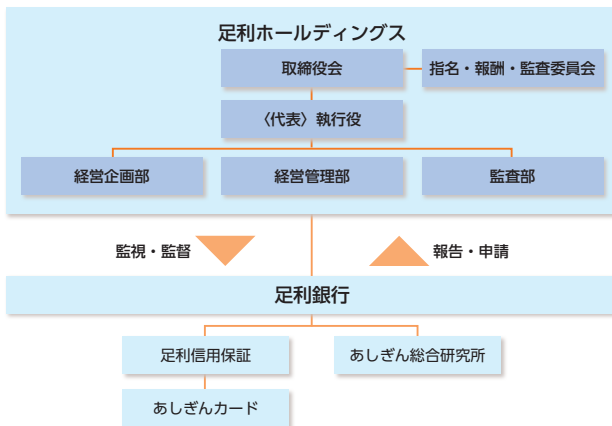
### ○ 足利銀行

商号 … 株式会社足利銀行  
代表者 … 代表執行役頭取 藤澤 智  
創業 … 明治28年10月1日  
資本金 … 1,350億円  
足利ホールディングスの100%子会社  
職員数 … 3,084名  
本店 … 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号

◆ 足利銀行は明治28年10月に栃木県足利市で創業、その後、業容の拡大とともに、昭和42年2月に北関東の中核都市である宇都宮市に本店を移転いたしました。

## 経営体制

企画機能を統括する経営企画部門、管理機能を統括する経営管理部門、内部監査を統括する監査部門を設置し、足利銀行の関連部門と密接に連携しながら経営の適正な管理・モニタリングを行っております。



皆さまには、平素より足利ホールディングスならびに足利銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当中間期におけるわが国経済は、各種経済対策や日本銀行による金融緩和の大幅な強化を受け、設備投資が持ち直しつつあるほか、住宅投資が増加し、個人消費も底堅く推移するなど、緩やかに回復しつつある状況となりました。栃木県経済におきましては、個人消費は一進一退の動きとなりましたが、住宅投資は堅調な動きとなったほか、設備投資も改善の兆しが見られるなど、一部に持ち直しの動きが見られるようになりました。

このような環境のもと、平成25年5月に公表した新たな中期経営計画「チャレンジ120～創業120年に向けた果敢なる挑戦～」に基づき、「お客さまから支持され、頼りにされる銀行」「便利で安心して利用できる銀行」「地域の発展に寄与し、ともに成長する銀行」を目指し、サービスの付加価値力向上・銀行力向上・人材力向上に取り組んでまいりました。

平成25年9月期は、地域経済を支える中堅・中小企業のお取引先を対象として、お客さまニーズをより深掘りすることにより、これまで以上の取引拡大を目指して取り組んでまいりましたほか、医療・介護分野や太陽光発電等の成長分野に積極的に対応する等、新規融資への取組みを進めました。個人ローンについては、住宅ローンを中心に推進するとともに、ローンセンターの休日営業拠点の増加等、推進体制の強化をはかりました。こうした取組みにより、貸出金残高（銀行単体）は、前年同期末比2,039億円増加の3兆8,895億円となりました。また、法人融資先数（正常先～要管理先）も21,521先に増加いたしました。

預金等残高（銀行単体）につきましては、個人・法人とも堅調に増加しているほか、譲渡性預金も増加したことから、前年同期末比1,796億円増加の5兆46億円となりました。

その他、店舗ネットワークにつきましては、5月に、高崎支店内に設置していた高崎ローンセンターを、ローン業務に特



株式会社足利ホールディングス 代表執行役社長  
株式会社足利銀行 代表執行役頭取

藤澤 智

化した有人出張所拠点として移転したことにより、25年9月末の有人店舗数は152か店となりました。また、インスタ型ATMを、栃木県を中心としたスーパーマーケット等に設置し、ATMネットワークの拡充を進めました。

損益の状況につきましては、国債等債券損益が減少いたしました。有価証券利息配当金の増加や、預り資産の販売が増加したこと等により、資金利益と役員取引等利益が増加いたしました。また、経費が減少したほか、保有株式の一部売却により株式等損益が大きく増加したこと、繰延税金資産が増加したこと等から、平成25年9月期の当社連結ベースの中間純利益は、前年同期比71億円増加し185億円となりました。

地域のお客さまと足利銀行をはじめ当社グループ相互の発展に向け、役職員一同、全力を尽くしてまいりますので、皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

平成25年12月

## 新中期経営計画の概要

名称	チャレンジ120 ～創業120年に向けた果敢なる挑戦～
計画期間	平成25年度～平成27年度(3ヵ年)
目指す銀行像	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客さまから支持され、頼りにされる銀行</li> <li>● 便利で安心して利用できる銀行</li> <li>● 地域の発展に寄与し、ともに成長する銀行</li> </ul>
中期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域へのコミットメントを通じた収益力向上の実現</li> <li>● 東京証券取引所への上場</li> </ul>

## 重要経営指標(平成27年度)

足利銀行単体							
収益性		成長性		効率性		健全性	
業務粗利益	780億円	預金等末残	5.2兆円	OHR	60%	不良債権比率	3%以内
業務純益	300億円	貸出金末残	4.1兆円				
		個人預り資産残高	9,500億円				

足利ホールディングス連結			
収益性		健全性	
経常利益	190億円	(新)自己資本比率	8.2%

## 基本戦略

- ≫ 「サービスの付加価値力」「銀行力」「人材力」の3つの力を結集し、中期経営目標を達成します。
- ≫ 「サービスの付加価値力」の向上を実現するため、「銀行力」「人材力」を強化します。

### サービスの付加価値力

- 「丸ごとサポート」により実現 ～「丸ごとサポート」を実現する3つの戦略～
  - 「法人戦略」——「地域の中堅・中小企業に対する取組強化」「コンサルティング力の強化」「成長分野への取組強化」
  - 「地域活性化」——ハブ機能の発揮
  - 「個人戦略」——「身近さ、便利さ、安心・信頼の追求」「重要なライフイベントへのフォーカス」

### 銀行力

- 市場運用力の強化
- PDCAの質向上(収益管理態勢の高度化)
- シンプルなオペレーション、高い経営効率

### 人材力

- 活力ある組織の創造
- 丸ごとサポート人材の育成

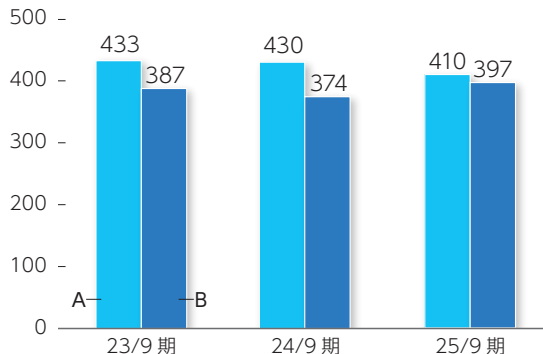
※銀行力とは……銀行業を行う組織として持つべき、「経営管理能力」「リスク管理能力」「企画力」「市場運用力」「効率的な業務オペレーション能力」などそれら能力の総称として使用しています。

# 主要な計数指標 (足利銀行単体)

## 業務粗利益

A 業務粗利益 B コア業務粗利益

(億円)

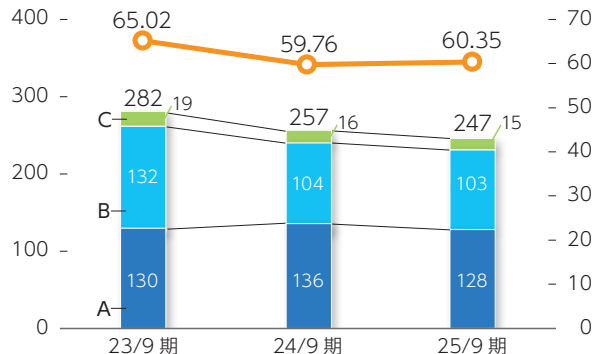


業務粗利益は、国債等債券損益は減少しましたが、資金利益と役員取引等利益はそれぞれ増加し、前年同期比△19億円の410億円、コア業務粗利益は、同比+23億円の397億円となりました。

## 経費・OHR

A 人件費 B 物件費 C 税金 OHR

(億円)

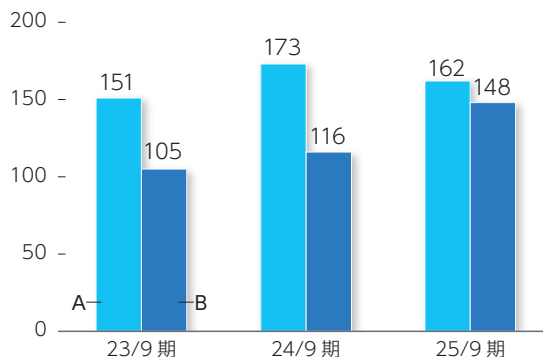


経費は、前年同期比△9億円の247億円となり、経費率（OHR）は60.35%となりました。

## 実質業務純益・コア業務純益

A 実質業務純益 B コア業務純益

(億円)

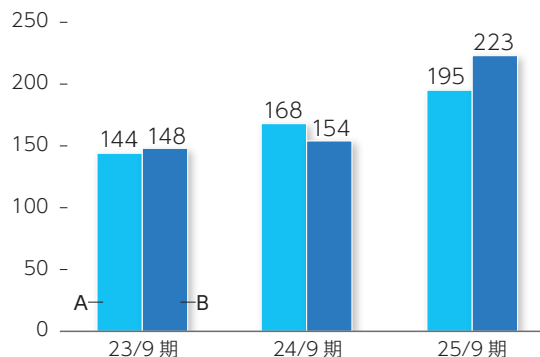


実質業務純益は、前年同期比△10億円の162億円となり、国債等債券損益を控除した後のコア業務純益は、同比+32億円の148億円となりました。

## 経常利益・中間純利益

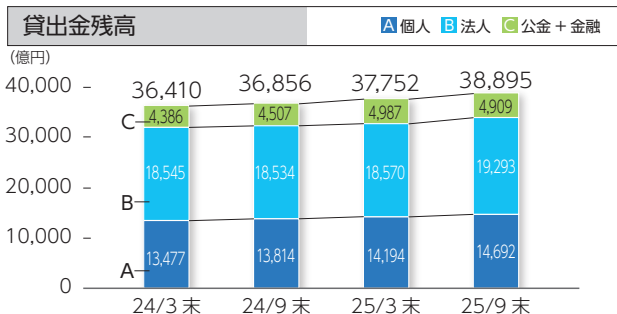
A 経常利益 B 中間純利益

(億円)

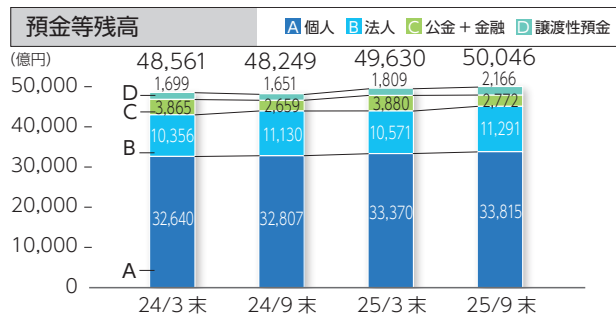


経常利益は、前年同期比+26億円の195億円、中間純利益は、同比+68億円の223億円となりました。

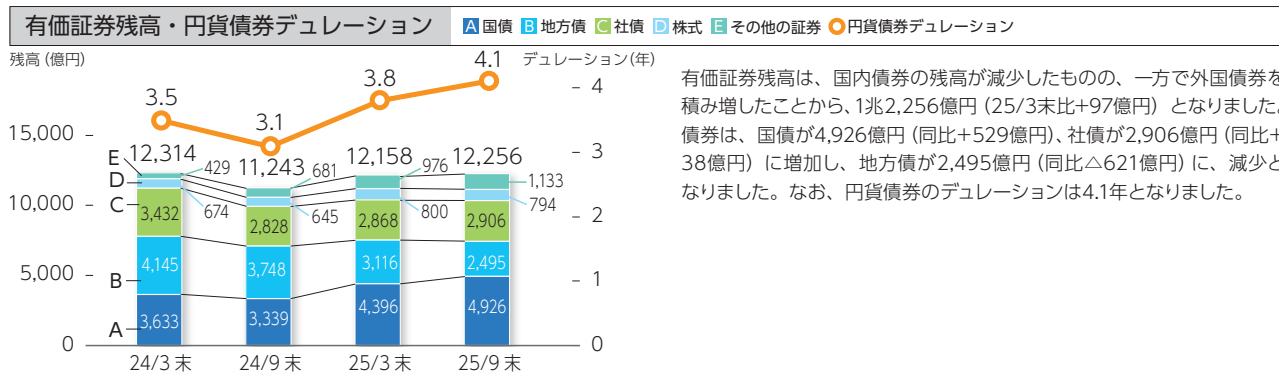
# 主要な計数指標（足利銀行単体）／自己資本比率



貸出金残高は、住宅ローンを中心に個人貸出が大きく増加したほか、法人貸出や公金貸出も増加したことから、24/9末比+2,039億円の3兆8,895億円となりました。

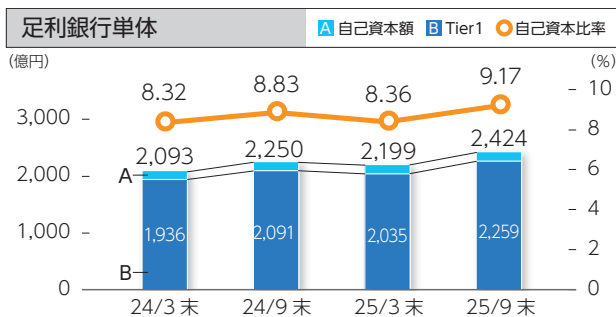
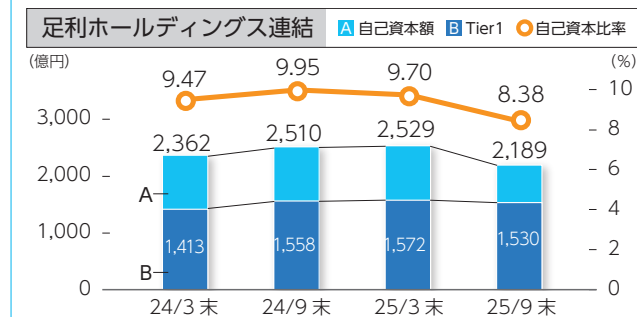


預金等残高は、個人預金と法人預金を中心に堅調に増加したほか、譲渡性預金も増加したことから、24/9末比+1,796億円の5兆46億円となりました。



有価証券残高は、国内債券の残高が減少したものの、一方で外国債券を積み増したことから、1兆2,256億円(25/3末比+97億円)となりました。債券は、国債が4,926億円(同比+529億円)、社債が2,906億円(同比+38億円)に増加し、地方債が2,495億円(同比△621億円)に、減少となりました。なお、円貨債券のデュレーションは4.1年となりました。

## 自己資本比率の推移

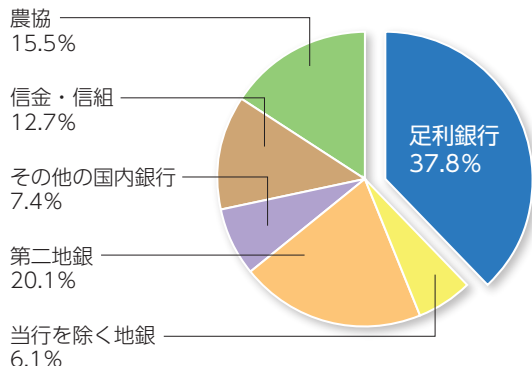


足利ホールディングス連結は、事業計画に掲げていた資本政策を実施したこと(劣後ローンの残高減少:300億円、優先株式の一部償還:取得総額258億円)により、8.38%(H25/3末比△1.32%)となりました。足利銀行単体は9.17%(同比+0.81%)に上昇いたしました。

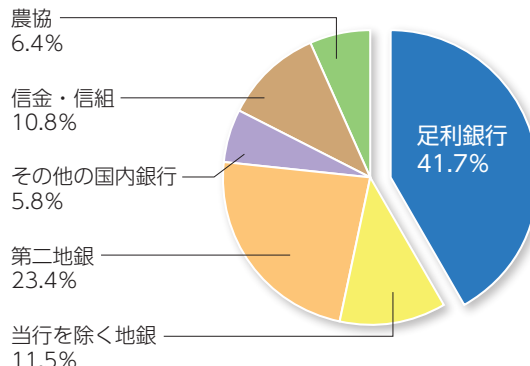
# 地域密着型金融への取組み

## 栃木県内シェア

預金 (25年3月)



貸出金 (25年3月)



※本計数の対象金融機関は、国内銀行（ゆうちょ銀行除く）、信用金庫、信用組合、農協です。（当行調べ）

### 貸出金残高、地域向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	23/9末	24/9末	25/9末
貸出金残高	34,292	36,856	38,895
地域向け貸出金残高	29,346	30,562	31,970
地域向け貸出金比率	85.5	82.9	82.2

### 中小企業等向け貸出金残高・比率、地域の中小企業等向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	23/9末	24/9末	25/9末
中小企業等向け貸出金残高	25,434	26,136	27,407
中小企業等向け貸出金比率	74.1	70.9	70.5
地域の中小企業等向け貸出金残高	24,324	24,657	25,548
地域向け貸出金に対する地域の中小企業等向け貸出金比率	82.8	80.7	79.9

### 預金残高、地域の預金残高・比率

(億円、%)

	23/9末	24/9末	25/9末
預金残高	45,240	46,597	47,879
地域の預金残高	44,880	46,219	47,518
地域の預金残高比率	99.2	99.1	99.2

### 預り資産残高、地域の預り資産残高・比率

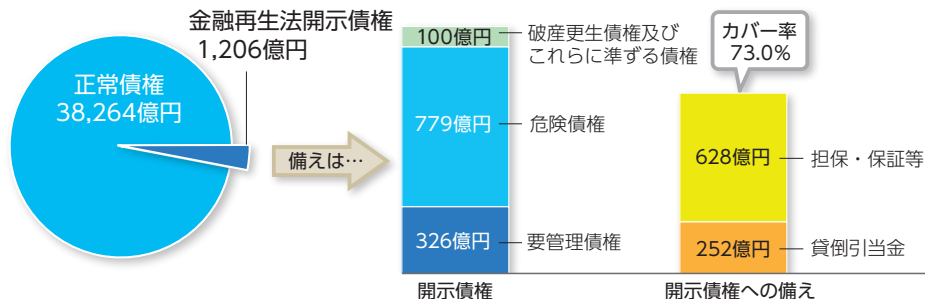
(億円、%)

	23/9末	24/9末	25/9末
預り資産残高	6,513	7,003	7,421
地域の預り資産残高	6,505	6,994	7,413
地域の預り資産残高比率	99.8	99.8	99.8

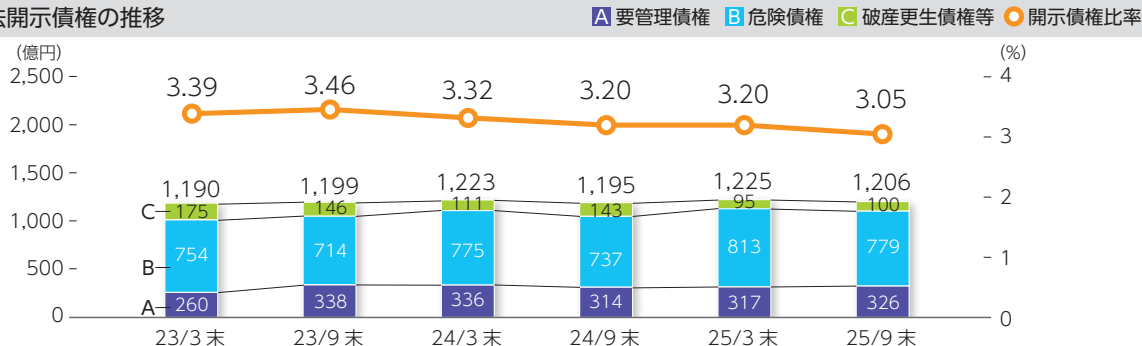
※当行における「地域」とは、北関東を中心とした主要な営業地盤（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県）をさしております。

# 地域密着型金融への取組み

## 金融再生法に基づく開示債権の状況（25/9末）



### 金融再生法開示債権の推移



不良債権残高は1,206億円(25/3末比△19億円)となりましたほか、正常債権が大きく増加したこともあり、不良債権比率は3.05%(同比△0.15%)に低下いたしました。

### 金融の円滑化に関する取組方針

「中小企業金融円滑化法」は平成25年3月末をもって終了しましたが、足利銀行では、「地域金融機関として適切に金融仲介機能を発揮し、中小企業等の資金需要等に積極的に対応すること、条件変更等の相談に真摯に対応すること、コンサルティング機能を十分に発揮すること」との従来方針を堅持してまいります。

### ご返済条件の変更等に関するご相談窓口

#### 苦情相談窓口

フリーダイヤル 0120-550-760

受付時間 平日 9:00～17:00

(銀行の休業日を除きます)

### ご返済条件の変更等をご希望のお客さまのご連絡先

お取引店の担当者までご連絡ください。



## 平成25年度上期における地域密着型金融の取組実績

### 取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

#### ライフステージ等に応じた取引先企業の支援

##### 創業・新事業支援

創業・新事業支援に関する融資実行	37件	154百万円
------------------	-----	--------

##### 経営改善支援・事業再生

経営改善計画の策定完了	71先
中小企業再生支援協議会の活用先数	39先

##### 事業承継

後継者への自社株式移転等の事業承継に関する相談対応	92件
M&Aに関する相談対応	44件



地方銀行フードセレクトション2013

#### 情報営業・ビジネスマッチング

- ・25年5、6月 県内食品企業とネクセリア東日本株式会社（高速道路サービスエリア等を管轄）等との商談会開催 出展企業計12社
- ・25年10月 地方銀行39行共同による「地方銀行フードセレクトション2013」開催 当行からの出展企業28社
- ・25年11月 栃木県内6信用金庫・2信用組合と共同による「ものづくり企業展示・商談会2013」開催 出展企業193社
- ・26年1月 栃木県と共同による「とちぎ食の展示・商談会2014」開催予定



ものづくり企業展示・商談会2013

#### 事業価値を見極める融資手法の活用

当行がアレンジャー兼エージェントを務めるシンジケートローン	15件	(総額818億円)
私募債引受	81件	(総額74億円)

- ・事業価値の見極めや融資審査、お取引先へのコンサルティング機能の発揮にかかる行員個々の能力向上をはかるため、行内外における研修やトレーニー制度を通じ、人材育成に努めております。
  - ・「医療経営士3級」28名
  - ・「農業経営アドバイザー」23名

#### 海外ビジネスサポート体制の強化

- ・アジア地域とのビジネス拡大を目指す企業の皆さまへ海外ビジネスサポート体制の強化をはかっております。
  - ・25年5月、「中小部品産業のアジアへの販路拡大支援セミナー」開催
  - ・25年7月、「アジアへの販路拡大支援セミナー（ハラルビジネス）」開催



海外ビジネスセミナー

## 地域の面的再生への積極的な参画

### 「地域経済活性化研究会」について

- 栃木県・野村グループ・当行の三者で立ち上げた「地域経済活性化研究会」では、「食と農」「企業誘致」「観光」「再生可能エネルギー」「海外展開（販路・事業拡大）支援」をテーマとした施策を検討
- 『「食と農」企業支援プロジェクト』において、選定支援企業の一部が研究途上にあることから、当初予定していた終了時期を1年間延長
- 「観光」については、県内主要観光地の有志による「県内主要観光地情報交換会」を11回開催

### 栃木県との「地域経済の発展を目的とした連携協定」の締結

- 栃木県との日常的かつ密接な連携体制をさらに強固なものとし、県内企業の成長力の強化、新産業・成長産業の開拓・支援、企業誘致・定着促進へ取組むため、栃木県と「地域経済の発展を目的とした連携協定」を締結

### 官民・産学連携活動

- 25年5月、「第4回あしぎんPFIセミナー（PFI施設見学会）」を開催（参加者37名）し、施設管理者等からの説明および施設見学を通じて、PFI施設の特徴に関する情報提供を実施

### 6次産業化支援への取組み

25年9月、株式会社農林漁業成長産業化支援機構、株式会社みずほ銀行、みずほキャピタル株式会社、栃木県内の信用金庫・信用組合と共同で「とちまる6次産業化成長応援ファンド」を組成いたしました。

- 25年11月、「とちまる6次産業化セミナー」開催 参加者100名

## 地域や利用者に対する積極的な情報発信

### シンクタンクによる情報機能

- 「株式会社あしぎん総合研究所」において、地域経済の動向や景況調査等の情報を提供 調査結果公表13回
- 中小企業の課題解決や地方自治体からの地域振興案件に向けたコンサルティング業務の展開のほか、人材育成のための研修やセミナー、外部講師を招いた実務セミナーを随時開催



PFI施設見学会



とちまる6次産業化成長応援ファンド設立



人材育成セミナー

## お客様の利便性向上への取組み

### 店舗ネットワークの整備

- 25年5月、高崎支店内に設置していた高崎ローンセンターを、ローン業務に特化した有人出張所拠点として移転いたしました。
- 25年10月、みずほの出張所（リテールセンター）を「インターパーク支店（リテールセンター）」として新築移転し、「インターパークローンセンター」を併設いたしました。

### ATMサービスの拡充

#### ○ATMネットワークの拡充

スーパーマーケット等の商業施設内への設置を前提としたインスタア型ATMを19か所に設置し、25年10月末のATM設置箇所数は、有人店舗が150か所、店舗外ATMが199か所の計349か所（25年3月末比+17か所）となりました。

#### ○ATMサービスの変更

25年10月、あしぎんATM115か所において営業時間の延長を行ったほか、イオン銀行ATMのご利用時間を拡大いたしました。また、セブン銀行ATM・イーネットATMのご利用時間を最大24時間まで拡大するとともに、ご利用手数料を変更いたしました。

#### ○ATM宝くじサービス

25年6月、ATMでの数字選択式宝くじ「ロト7」の取扱いを開始いたしました。

### インターネットバンキングの拡大

#### ○個人のお客様向けインターネットバンキング

25年9月、投資信託の各種報告書類を、郵送に代えてインターネットバンキング上で閲覧、ダウンロードできる「電子交付サービス」の取扱いを開始いたしました。

#### ○法人のお客様向けインターネットバンキング

25年5月、新しいシステムに移行し、照会・振込みの24時間のご利用が可能となりました。また、セキュリティを強化するため、一度限りの使い捨てのパスワードを電子メールで通知する機能（「メール通知パスワード」）を選択してご利用いただけるようになりました。



高崎ローンセンター移転オープン



インターパーク支店オープン



インスタア型ATM

## 個人のお客さまへの取組み

### ○スマイルデスク

多様化するお客さまのライフスタイルにあった資産形成のご相談にお応えするため、金融商品販売店舗にご相談ブース（スマイルデスク）を設置し、専門スタッフが資産づくりのご相談をお受けしております。お客さまを笑顔でお迎えし、親切・丁寧に対応するという思いから「スマイルデスク」と名付けました。

- 25年5月、保険専門相談窓口「あしぎん保険プラザ宇都宮東」を開設
- 25年6月、教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置に対応した「教育資金贈与専用預金」の取扱開始
- 25年6月より、「少額投資非課税制度（NISA）口座開設お申込みキャンペーン」実施中

### ○ローンセンター

住宅ローンをはじめ、マイカーローン、教育ローン、フリーローンなどお客さまの暮らしに役立つ商品を取り扱っており、ローン専門のスタッフが各種ローン商品の説明を行い、資金計画・返済計画等のご相談をお受けしております。

#### [住宅ローン]

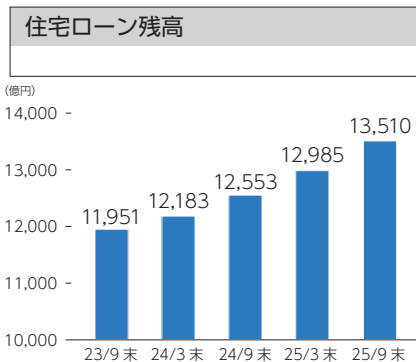
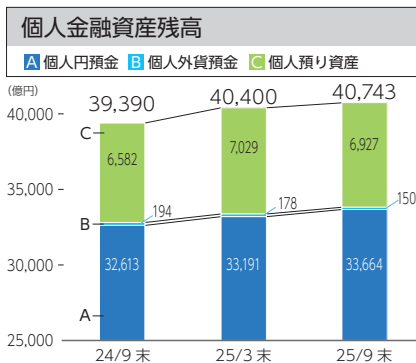
- 新規の住宅を取得される方を対象とした「マイホーム取得応援金利プラン」を実施
- 他の金融機関からのお借換えされる方を対象とした「借換応援金利プラン」を実施
- 配偶者（女性）ががんと診断された際に一時金をお支払する「配偶者特約」など、団体信用生命保険の保障内容をさらに充実させた「8つの疾病保障付住宅ローン“保障充実プラン”」の取扱実施

#### [カードローン・無担保ローン]

- 25年10月、新たなカードローン商品「Mo・Shi・Ca（モシカ）」の取扱開始
- 25年10月、『あしぎん教育カードローン「カルチャータン」』の取扱開始  
在学中に必要な学費を上限にカードローンのご利用限度額を設定、ATMにてご利用可能であり、都度の窓口での手続きは不要です。
- 25年10月、教育・マイカーローンの金利体系を簡素化したほか、WEBでのお申込みの際、多くのお客さまにご理解いただきやすいホームページとなるよう大幅なリニューアルを行いました。



スマイルデスク



## 法人のお客さまへの取組み

足利銀行では、お客さまが抱える経営課題を共有し、お客さまに最適なソリューションをご提案いたします。

### ○事業戦略のサポート

企業の存続と更なる発展のために、円滑な事業承継への取組みや企業間の連携などさまざまな対策のご提案をいたします。

- M&A、IPO（上場）、資本政策、関連会社整理等のご提案（事業拡大・整理、社内体制整備、次ステージへのステップアップ）
- 経営全体の課題の把握、解決、改善のご提案（経営コンサルティング）
- 従業員・役員の福利厚生のご提案（年金・退職金制度（401K他）、役員員の持株制度他）
- 海外進出に関するサポート
  - >> 25年4月、「アジア・中国デスク」を1名増員し、アジア関連ビジネスの相談窓口を拡充
  - >> 中華人民共和国の中国銀行、タイ王国のカシコン銀行など業務提携先の活用により、お取引先の海外での口座開設や現地での金融ニーズへの支援を強化
  - >> 海外セミナー・商談会の開催

### ○財務戦略のサポート

多様化する資金調達ニーズに対し、お客さまの現状と将来を見据えた財務提案をいたします。

- お借入れ、私募債、増資（あしぎんファンド）による資金調達のご提案
- 多額の資金調達時におけるシンジケート・ローン組成のご提案
- 振込・振替等各種決済サービスのご提案
- 資金の運用（預金、債券、株式等）に関するご提案

### ○事業承継のサポート

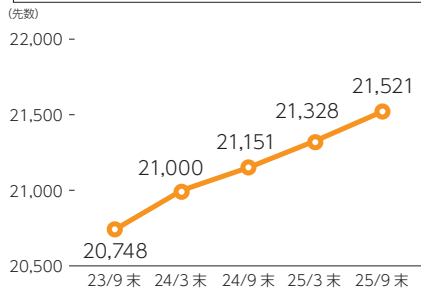
後継者へのスムーズな事業承継のために、現状の分析から問題点の把握、解決策のご提案に至るまで、総合的なコンサルティングを行っております。

- 株価算定のご提案
- 株式の生前贈与・譲渡のご提案
- 企業オーナー一族の相続対策のご提案



アジア・中国デスク

### 法人融資先数（正常先～要管理先）



# CSR (企業の社会的責任) への取り組み

## 環境問題への取り組み

### 「あしぎんの森」の創設

栃木県鹿島の森（栃木県矢板市）に「あしぎんの森」を創設し、昨年より2回にわたり植樹活動（当行役職員とその家族約550名の参加）を行いました。この植樹活動により、とちぎカーボンオフセット制度に基づき、24年度は1.84トン、25年度は1.04トンのCO<sub>2</sub>削減が認証されております。



「あしぎんの森」植樹

### 足尾の山への植樹活動

25年6月、NPO法人「足尾に緑を育てる会」協力のもと、新入行員98名と栃木県産産協議会の会員企業の新入社員53名により、足尾の山への苗木の植樹を行いました。



足尾の山植樹

### 日光杉並木

世界に誇る日光杉並木を守るため、栃木県が行っている「日光杉並木オーナー制度」に賛同し、平成8年よりオーナーとなっております。その後の継続的な購入により、一団体としては最多の73本（1本1,000万円）の杉を保有しております。



日光杉並木オーナー証書授与式

### 「エコ通勤week」への参加

栃木県ならびに県内市町が取組む「エコ通勤week」統一行動に、足利銀行グループとして例年参加し（10月15日から21日まで実施）、一日あたり約1,800名の役職員がエコ通勤に取り組みました。

## 健康・福祉への貢献

### 「ほじょ犬ステッカー」の掲示

身体障害者補助犬法への理解を深め、同法を遵守するため、全営業店の店舗入口に「ほじょ犬ステッカー」を掲示しております。

### 「認知症サポーター」の養成

高齢化社会の進展にともない、認知症への理解を深めるとともに、地域金融機関として、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域社会の実現に貢献するため、「認知症サポーター」の養成に取り組んでおります。25年9月末の同サポーター数は908名となっており、営業店に同サポーターを配置しております。

### 音声案内ハンドセット（受話器）付ATMの増設

目の不自由な方に対応した音声案内ハンドセット（受話器）付ATMについて有人店舗は1か店1台以上、公共施設（病院・駅・行政施設）のATMは全台設置となるよう対応を進め、25年9月末の同ATM設置数は、196か所310台となりました。



認知症サポーター養成講座



ハンドセット付ATMの設置

## 金融教育の推進

### キッズスクールの開催

25年8月、地域の小学生を対象とした『あしぎんキッズスクール「お金の体験学習」』を本店にて開催し、親子23組62名が参加いたしました。



キッズスクール

### 「エコノミクス甲子園」 栃木大会の開催

25年度上期は、職業体験の機会提供として「インターシップ」を実施し、銀行業務に関心のある大学生27名を受け入れました。また、地元の小学生から中学生を対象に職場見学を実施したほか、12月には、高校生が楽しみながら金融経済に触れ、金融知力を身につける機会を提供するため、第8回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」栃木大会の開催を予定しております。

## 公益財団法人あしぎん国際交流財団

当行が昭和60年に創設したあしぎん国際交流財団では、国際交流活動の促進や国際性豊かな地域社会の創造に寄与することを目的に、地域の国際交流団体や海外からの留学生への助成等を行っております。



助成先と財団役員

## 文化・スポーツ振興等

23年度より、栃木県が開催する音楽コンサートのネーミングライツパートナーとなり、「あしぎんマロニエ県庁コンサート」として、県民の文化活動の発表の場や文化に親しむ機会の提供に協力しております。

地元プロスポーツクラブを地元の皆さまとともに応援するため、「栃木SC（株式会社栃木サッカークラブ）」のオフィシャルパートナーとなっているほか、「宇都宮ブリッツェン（サイクルスポーツマネージメント株式会社）」「H.C.（ホッケークラブ）栃木日光アイスバックス（株式会社栃木ユナイテッド）」のオフィシャルスポンサーとなっております。

25年7月には、栃木SCへの特別協賛により、冠試合「あしぎんGOODYカードスペシャルマッチ」を開催いたしました。

## 栃木県産業協議会

昭和56年、栃木県内の有力企業経営者の経済団体として設立され、定期の勉強会を通じて情報交換や異業種交流、後継者育成などを行っております。当行は事務局の役割を果たすなど、積極的に支援しております。



栃木県産業協議会



あしぎんGOODYカードスペシャルマッチ

# 連結財務諸表 (足利ホールディングス)

## 中間連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>資産の部</b>	
現金預け金	279,950
買入金銭債権	6,863
商品有価証券	3,143
有価証券	1,196,697
貸出金	3,840,339
外国為替	9,460
その他資産	58,759
有形固定資産	23,583
無形固定資産	96,929
繰延税金資産	6,094
支払承諾見返	16,684
貸倒引当金	△ 43,752
<b>資産の部合計</b>	<b>5,494,753</b>
<b>負債の部</b>	
預金	4,759,479
譲渡性預金	176,666
コールマネー及び売渡手形	4,887
債券貸借取引受入担保金	48,821
借入金	182,274
外国為替	564
その他負債	37,271
役員賞与引当金	12
退職給付引当金	872
役員退職慰労引当金	239
睡眠預金払戻損失引当金	1,481
偶発損失引当金	375
ポイント引当金	69
支払承諾	16,684
<b>負債の部合計</b>	<b>5,229,700</b>
<b>純資産の部</b>	
資本金	105,010
資本剰余金	69,941
利益剰余金	69,625
株主資本合計	244,576
その他有価証券評価差額金	20,246
繰延ヘッジ損益	229
その他の包括利益累計額合計	20,476
<b>純資産の部合計</b>	<b>265,053</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,494,753</b>

### 資産の部

お客さまへのご融資である「貸出金」、債券や株式等の「有価証券」など、主に資金の運用状況を表します。

### 負債の部

お客さまからお預りしている「預金」、「譲渡性預金」、「借入金」など、主に資金の調達状況を表します。

### 純資産の部

株主の皆様からのご出資金である「資本金」や今までの利益の蓄積である「利益剰余金」などの総額です。

## 中間連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>56,517</b>
資金運用収益	35,663
(うち貸出金利息)	(28,927)
(うち有価証券利息配当金)	(6,500)
役員取引等収益	10,522
その他業務収益	3,088
その他経常収益	7,241
<b>経常費用</b>	<b>40,273</b>
資金調達費用	2,626
(うち預金利息)	(1,339)
役員取引等費用	2,867
その他業務費用	1,377
営業経費	29,071
その他経常費用	4,331
<b>経常利益</b>	<b>16,243</b>
<b>特別損失</b>	<b>261</b>
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>15,981</b>
法人税、住民税及び事業税	1,092
法人税等調整額	△ 3,675
法人税等合計	△ 2,583
<b>少数株主損益調整前中間純利益</b>	<b>18,564</b>
<b>中間純利益</b>	<b>18,564</b>

### 経常収益、経常費用

「経常収益」は、貸出金利息や各種手数料等の収益で、「経常費用」は預金利息や営業経費等の費用を表します。

### 経常利益

経常収益から経常費用を差し引いた利益のことです。

### 中間純利益

経常利益から税金等を差し引いた最終的な利益のことです。



中間連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
<b>株主資本</b>	
資本金	
当期首残高	105,010
当中間期変動額	
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	105,010
資本剰余金	
当期首残高	95,780
当中間期変動額	
自己株式の消却	△ 25,838
当中間期変動額合計	△ 25,838
当中間期末残高	69,941
利益剰余金	
当期首残高	56,730
当中間期変動額	
剰余金の配当	△ 5,670
中間純利益	18,564
当中間期変動額合計	12,894
当中間期末残高	69,625
自己株式	
当期首残高	—
当中間期変動額	
自己株式の取得	△ 25,838
自己株式の消却	25,838
当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	—
<b>株主資本合計</b>	
当期首残高	257,521
当中間期変動額	
剰余金の配当	△ 5,670
中間純利益	18,564
自己株式の取得	△ 25,838
自己株式の消却	—
当中間期変動額合計	△ 12,944
当中間期末残高	244,576
<b>その他の包括利益累計額</b>	
<b>その他有価証券評価差額金</b>	
当期首残高	21,954
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 1,708
当中間期変動額合計	△ 1,708
当中間期末残高	20,246
<b>繰延ヘッジ損益</b>	
当期首残高	△ 132
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	362
当中間期変動額合計	362
当中間期末残高	229
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	
当期首残高	21,822
当中間期変動額	
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 1,346
当中間期変動額合計	△ 1,346
当中間期末残高	20,476
<b>純資産合計</b>	
当期首残高	279,343
当中間期変動額	
剰余金の配当	△ 5,670
中間純利益	18,564
自己株式の取得	△ 25,838
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 1,346
当中間期変動額合計	△ 14,290
当中間期末残高	265,053

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純利益	15,981
減価償却費	1,781
減損損失	16
のれん償却額	3,101
貸倒引当金の増減 (△)	712
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 44
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 397
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△ 14
睡眠預金払戻損失引当金の増減 (△)	△ 36
偶発損失引当金の増減 (△)	48
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△ 5
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△ 70
資金運用収益	△ 35,663
資金調達費用	2,626
有価証券関係損益 (△)	△ 5,623
為替差損益 (△は益)	△ 382
固定資産処分損益 (△は益)	13
貸出金の純増 (△) 減	△ 64,364
預金の純増減 (△)	13,667
譲渡性預金の純増減 (△)	25,738
借入金 (劣後特約借入金を除く)の純増減 (△)	90,570
預け金 (日銀預け金を除く)の純増 (△) 減	1,585
コールローン等の純増 (△) 減	129,675
商品有価証券の純増 (△) 減	1,136
コールマネー等の純増減 (△)	4,887
債券貸借取引受入担保金の純増減 (△)	△ 23,129
外国為替 (資産) の純増 (△) 減	△ 2,009
外国為替 (負債) の純増減 (△)	13
資金運用による収入	36,405
資金調達による支出	△ 3,613
その他	△ 2,014
小計	190,592
法人税等の支払額	△ 1,754
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	188,837
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の取得による支出	△ 251,688
有価証券の売却による収入	124,134
有価証券の償還による収入	84,980
有形固定資産の取得による支出	△ 748
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	△ 346
その他	△ 2
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 43,670
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
劣後特約借入れによる収入	40,000
劣後特約借入金の返済による支出	△ 70,000
配当金の支払額	△ 5,670
自己株式の取得による支出	△ 25,838
その他	△ 5
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 61,514
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	12
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	83,665
現金及び現金同等物の期首残高	155,060
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	238,726

# 連結財務諸表 (足利銀行)

## 中間連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

科 目		科 目	
金 額	金 額	金 額	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
現金預け金	279,950	預金	4,766,819
買入金銭債権	6,863	譲渡性預金	186,666
商品有価証券	3,143	コールマネー及び売渡手形	4,887
有価証券	1,196,697	債券貸借取引受入担保金	48,821
貸出金	3,890,339	借入金	132,274
外国為替	9,460	外国為替	564
その他資産	55,747	その他負債	36,422
有形固定資産	24,045	役員賞与引当金	5
無形固定資産	5,443	退職給付引当金	872
繰延税金資産	6,955	役員退職慰労引当金	135
支払承諾見返	16,684	睡眠預金払戻損失引当金	1,481
貸倒引当金	△ 43,772	偶発損失引当金	375
		ポイント引当金	69
		支払承諾	16,684
		<b>負債の部合計</b>	<b>5,196,079</b>
		<b>純 資 産 の 部</b>	
		資本金	135,000
		利益剰余金	96,724
		株主資本合計	231,724
		その他有価証券評価差額金	23,525
		繰延ヘッジ損益	229
		その他の包括利益累計額合計	23,755
		<b>純資産の部合計</b>	<b>255,479</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>5,451,559</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,451,559</b>

## 中間連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

科 目		金 額
<b>経常収益</b>		<b>56,751</b>
資金運用収益		35,361
(うち貸出金利息)		(29,193)
(うち有価証券利息配当金)		(5,932)
役員取引等収益		10,537
その他業務収益		3,088
その他経常収益		7,763
<b>経常費用</b>		<b>36,050</b>
資金調達費用		1,489
(うち預金利息)		(1,341)
役員取引等費用		2,867
その他業務費用		1,377
営業経費		26,030
その他経常費用		4,285
<b>経常利益</b>		<b>20,700</b>
<b>特別損失</b>		<b>278</b>
<b>税金等調整前中間純利益</b>		<b>20,422</b>
法人税、住民税及び事業税		1,089
法人税等調整額		△ 3,971
法人税等合計		△ 2,881
少数株主損益調整前中間純利益		23,303
<b>中間純利益</b>		<b>23,303</b>

## 中間連結株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

科 目		科 目		科 目	
金 額	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
<b>株主資本</b>		<b>その他の包括利益累計額</b>		<b>その他の包括利益累計額合計</b>	
資本金		その他有価証券評価差額金		当期首残高	25,407
当期首残高	135,000	当期首残高	25,539	当中間期変動額	
当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 2,014	株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 1,651
当中間期変動額合計		当中間期変動額合計	△ 2,014	当中間期変動額合計	△ 1,651
当中間期末残高	135,000	当中間期末残高	23,525	当中間期末残高	23,755
<b>利益剰余金</b>		<b>繰延ヘッジ損益</b>		<b>純資産合計</b>	
当期首残高	88,166	当期首残高	△ 132	当期首残高	248,573
当中間期変動額		当中間期変動額		当中間期変動額	
剰余金の配当	△ 14,745	株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	362	剰余金の配当	△ 14,745
中間純利益	23,303	当中間期変動額合計	362	中間純利益	23,303
当中間期変動額合計	8,557	当中間期変動額合計	362	株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 1,651
当中間期末残高	96,724	当中間期末残高	229	当中間期変動額合計	6,906
<b>株主資本合計</b>				当中間期末残高	255,479
当期首残高	223,166				
当中間期変動額					
剰余金の配当	△ 14,745				
中間純利益	23,303				
当中間期変動額合計	8,557				
当中間期末残高	231,724				

# 単体財務諸表 (足利銀行)

## 中間貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

		(単位: 百万円)	
科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	279,948	預金	4,787,933
買入金銭債権	6,863	譲渡性預金	216,666
商品有価証券	3,143	コールマネー	4,887
有価証券	1,225,639	債券貸借取引/受入担保金	48,821
貸出金	3,889,585	借入金	132,274
外国為替	9,460	外国為替	564
その他資産	53,744	その他負債	21,636
有形固定資産	24,825	役員賞与引当金	5
無形固定資産	5,424	退職給付引当金	863
繰延税金資産	6,794	役員退職慰労引当金	130
支払承諾見返	16,684	睡眠預金払戻損失引当金	1,481
貸倒引当金	△ 40,093	偶発損失引当金	375
		ポイント引当金	32
		支払承諾	16,684
		<b>負債の部合計</b>	<b>5,232,357</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資本金	135,000
		利益剰余金	90,928
		利益準備金	12,332
		その他利益剰余金	78,595
		繰越利益剰余金	78,595
		株主資本合計	225,928
		その他有価証券評価差額金	23,506
		繰延ヘッジ損益	229
		評価・換算差額等合計	23,736
		<b>純資産の部合計</b>	<b>249,664</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>5,482,022</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>5,482,022</b>

## 中間損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

		(単位: 百万円)	
科目	金額	科目	金額
<b>経常収益</b>		<b>54,541</b>	
資金運用収益	33,885		
(うち貸出金利息)	(27,724)		
(うち有価証券利息配当金)	(5,930)		
役員取引等収益	9,939		
その他業務収益	2,950		
その他経常収益	7,766		
<b>経常費用</b>		<b>34,959</b>	
資金調達費用	1,493		
(うち預金利息)	(1,343)		
役員取引等費用	2,906		
その他業務費用	1,334		
営業経費	25,248		
その他経常費用	3,976		
<b>経常利益</b>	<b>19,582</b>		
<b>特別損失</b>	<b>278</b>		
<b>税引前中間純利益</b>	<b>19,303</b>		
法人税、住民税及び事業税	869		
法人税等調整額	△ 3,936		
法人税等合計	△ 3,067		
<b>中間純利益</b>	<b>22,371</b>		

## 中間株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

科目	金額	科目	金額	科目	金額	科目	金額
<b>株主資本</b>		<b>利益剰余金合計</b>		<b>評価・換算差額等</b>		<b>評価・換算差額等合計</b>	
資本金		当期首残高	83,302	その他有価証券評価差額金		当期首残高	25,390
当期首残高	135,000	当中間期変動額		当期首残高	25,522	当中間期変動額	
当中間期変動額	—	剰余金の配当	△ 14,745	当中間期変動額		株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 1,653
当中間期末残高	135,000	中間純利益	22,371	当中間期変動額		当中間期変動額合計	△ 1,653
<b>利益剰余金</b>		当中間期変動額合計	7,625	株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 2,016	<b>当中間期末残高</b>	<b>23,736</b>
利益準備金		<b>当中間期末残高</b>	<b>90,928</b>	当中間期変動額合計	△ 2,016	<b>純資産合計</b>	
当期首残高	9,383	<b>株主資本合計</b>		当中間期末残高	23,506	当期首残高	243,693
当中間期変動額		当期首残高	218,302	繰延ヘッジ損益		当中間期変動額	
剰余金の配当	2,949	当中間期変動額		当期首残高	△ 132	剰余金の配当	△ 14,745
当中間期変動額合計	2,949	剰余金の配当	△ 14,745	当中間期変動額		中間純利益	22,371
当中間期末残高	12,332	中間純利益	22,371	株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	362	株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 1,653
<b>その他利益剰余金</b>		当中間期変動額合計	7,625	当中間期変動額合計	362	<b>当中間期変動額合計</b>	<b>5,971</b>
繰越利益剰余金		<b>当中間期末残高</b>	<b>225,928</b>	当中間期末残高	229	<b>当中間期末残高</b>	<b>249,664</b>
当期首残高	73,919						
当中間期変動額							
剰余金の配当	△ 17,694						
中間純利益	22,371						
当中間期変動額合計	4,676						
当中間期末残高	78,595						

# 営業所のご案内 (足利銀行)

営業所の状況 (25年10月末現在)

	営業所数		店外ATM	ローンセンター
	112店 (うち出張所43)	180		
栃木県	15店 (	5)	13	5
群馬県	8店 (	2)	3	1
茨城県	16店 (	1)	1	2
東京都	1店 (	-)	-	-
福島県	1店 (	-)	2	-
合計	153店 (	51)	199	23

※振込専用支店 (1か店) を含む  
 ※提携コンビニATM (セブン銀行ATM・イーネットATM) 全国30,423か所 (25年10月末現在)

(出)……出張所  
 (リ)……リテールセンター  
 (ア)……あしぎんプラザ  
 (ロ)……ローンセンター



発行/平成25年12月

足利ホールディングス経営企画部

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25  
 TEL028-622-8411 (代表) <http://www.ashikaga-hd.co.jp>

足利銀行広報室

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25  
 TEL028-622-0111 (代表) <http://www.ashikagabank.co.jp>



足利銀行はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。